

被災者のケア幅広く



AMD A 「医療と絆」両面支援

国際医療ボランティア「合わせて活動の幅を広げ、診療と物資配布」AMD A (岡山市北区伊福町)は、震災翌日から被災者の手当てに駆け付け、救療物資の配布や避難所の感染症予防など、刻一刻と変わる現地ニーズに

仙台市内の避難所で高齢者に点滴するAMD Aの看護師。医療提供がスタートした被災地での支援活動は現在も続いている。昨年3月22日 (AMD A提供)

「被災者は発生後3日ほどが最も心細く感じられる。何としても翌日には、避難所生活が長引いた。師はもろもろ、活動を進めたい」と話す。AMD Aは、被災者同士のつながりを強めた。仙台市に

「被災者は発生後3日ほどが最も心細く感じられる。何としても翌日には、避難所生活が長引いた。師はもろもろ、活動を進めたい」と話す。AMD Aは、被災者同士のつながりを強めた。仙台市に

「被災者は発生後3日ほどが最も心細く感じられる。何としても翌日には、避難所生活が長引いた。師はもろもろ、活動を進めたい」と話す。AMD Aは、被災者同士のつながりを強めた。仙台市に

「被災者は発生後3日ほどが最も心細く感じられる。何としても翌日には、避難所生活が長引いた。師はもろもろ、活動を進めたい」と話す。AMD Aは、被災者同士のつながりを強めた。仙台市に

菅波代表に聞く



東日本大震災1年の活動を振り返る菅波代表

「被災者は発生後3日ほどが最も心細く感じられる。何としても翌日には、避難所生活が長引いた。師はもろもろ、活動を進めたい」と話す。AMD Aは、被災者同士のつながりを強めた。仙台市に

「被災者は発生後3日ほどが最も心細く感じられる。何としても翌日には、避難所生活が長引いた。師はもろもろ、活動を進めたい」と話す。AMD Aは、被災者同士のつながりを強めた。仙台市に

「被災地に行く。旅行で観光しながらお金を使っても復興のために大事。被災地の様子を目にすれば、何かやろうという意識が芽生える。被災地の特産品を買っても立派な支援。離れていてもできる。知識を持った職員を派遣

「被災地に行く。旅行で観光しながらお金を使っても復興のために大事。被災地の様子を目にすれば、何かやろうという意識が芽生える。被災地の特産品を買っても立派な支援。離れていてもできる。知識を持った職員を派遣

「被災地に行く。旅行で観光しながらお金を使っても復興のために大事。被災地の様子を目にすれば、何かやろうという意識が芽生える。被災地の特産品を買っても立派な支援。離れていてもできる。知識を持った職員を派遣

「被災者は発生後3日ほどが最も心細く感じられる。何としても翌日には、避難所生活が長引いた。師はもろもろ、活動を進めたい」と話す。AMD Aは、被災者同士のつながりを強めた。仙台市に

「被災者は発生後3日ほどが最も心細く感じられる。何としても翌日には、避難所生活が長引いた。師はもろもろ、活動を進めたい」と話す。AMD Aは、被災者同士のつながりを強めた。仙台市に

「被災地に行く。旅行で観光しながらお金を使っても復興のために大事。被災地の様子を目にすれば、何かやろうという意識が芽生える。被災地の特産品を買っても立派な支援。離れていてもできる。知識を持った職員を派遣

「被災地に行く。旅行で観光しながらお金を使っても復興のために大事。被災地の様子を目にすれば、何かやろうという意識が芽生える。被災地の特産品を買っても立派な支援。離れていてもできる。知識を持った職員を派遣

「被災地に行く。旅行で観光しながらお金を使っても復興のために大事。被災地の様子を目にすれば、何かやろうという意識が芽生える。被災地の特産品を買っても立派な支援。離れていてもできる。知識を持った職員を派遣

「被災地に行く。旅行で観光しながらお金を使っても復興のために大事。被災地の様子を目にすれば、何かやろうという意識が芽生える。被災地の特産品を買っても立派な支援。離れていてもできる。知識を持った職員を派遣

「被災地に行く。旅行で観光しながらお金を使っても復興のために大事。被災地の様子を目にすれば、何かやろうという意識が芽生える。被災地の特産品を買っても立派な支援。離れていてもできる。知識を持った職員を派遣

「被災地に行く。旅行で観光しながらお金を使っても復興のために大事。被災地の様子を目にすれば、何かやろうという意識が芽生える。被災地の特産品を買っても立派な支援。離れていてもできる。知識を持った職員を派遣

| 団体名 | 主な活動地・拠点 | 主な活動内容 | 延べ人数 |
|------------------|----------|-----------------------|-------|
| 県職員支援隊 | 福島県郡山市 | 避難所運営支援、災害対策本部運営支援 | 204人 |
| 県市長会 | 岩手県大船渡市 | 災害復興事業設計、調査、保健衛生、事務支援 | 1千人超 |
| 県町村会 | 福島県鎌石町 | 災害復興事業設計、調査、保健衛生 | 38人 |
| 県警 | 福島県いわき市 | 行方不明者捜索、パトロール、交通規制、検視 | 499人 |
| 中国管区機動隊 | 岩手県陸前高田市 | 行方不明者捜索、交通規制 | 644人 |
| 陸上自衛隊日本原三軒屋駐屯地部隊 | 福島県福島市 | 行方不明者捜索、物資輸送、生活支援 | 約700人 |
| 県心のケアチーム | 宮城県陸前町 | 緊急医療支援 | 95人 |
| AMD A | 岩手県大船渡市 | 避難者診療、現地病院への医療スタッフ派遣 | 約260人 |
| 県社協ボランティア | 宮城県東松島市 | 民家の泥かき出し、家具搬出、写真復元 | 213人 |
| 倉敷市社協市民ボランティア | 岩手県遠野市 | がれき撤去 | 約430人 |
| 空岡市社協市民ボランティア | 宮城県多賀城市 | がれき撤去 | 75人 |
| 日赤県支部職員ボランティア | 宮城県気仙沼市 | 医療教護、病院支援、がれき撤去 | 206人 |
| 中国学大・中国短大 | 宮城県気仙沼市 | 避難所支援、支援物資配送 | 47人 |
| 川崎医療福祉大 | 宮城県南三陸町 | がれき撤去、側溝泥出し、イベント支援 | 約80人 |

「被災地に行く。旅行で観光しながらお金を使っても復興のために大事。被災地の様子を目にすれば、何かやろうという意識が芽生える。被災地の特産品を買っても立派な支援。離れていてもできる。知識を持った職員を派遣

「被災地に行く。旅行で観光しながらお金を使っても復興のために大事。被災地の様子を目にすれば、何かやろうという意識が芽生える。被災地の特産品を買っても立派な支援。離れていてもできる。知識を持った職員を派遣

「被災地に行く。旅行で観光しながらお金を使っても復興のために大事。被災地の様子を目にすれば、何かやろうという意識が芽生える。被災地の特産品を買っても立派な支援。離れていてもできる。知識を持った職員を派遣

「被災地に行く。旅行で観光しながらお金を使っても復興のために大事。被災地の様子を目にすれば、何かやろうという意識が芽生える。被災地の特産品を買っても立派な支援。離れていてもできる。知識を持った職員を派遣